

# 新型コロナウイルス（COVID-19） 感染症に対するベトナム人の反応

---

2回目調査（4月調査）



B&Company Vietnam Co., Ltd.

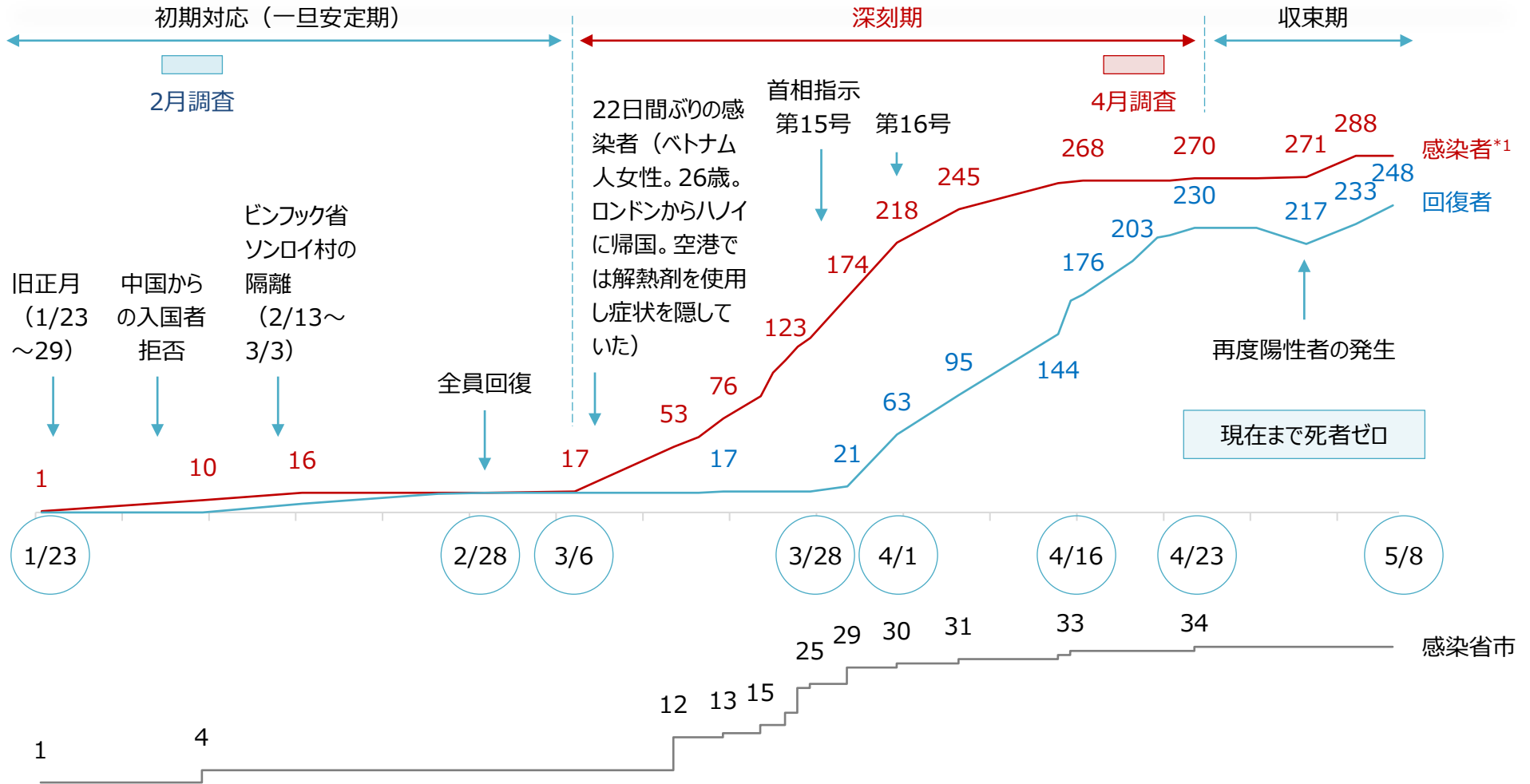
2020年5月

# はじめに

- 2019年末、中国・武漢市で最初の症例が確認されて以降、コロナウイルス（COVID-19）は世界中の人々の日常生活や社会経済活動に多大な影響を与えてきました。中国に隣接するベトナムは人口密度が高い一方で医療制度に脆弱性があり、WHOが「パンデミック」と宣言した流行の拡大に戦々恐々としてきました。
- このような中、「B&Company Vietnam」は当社オンライン調査プラットフォーム「Bean Survey ([www.beansurvey.vn](http://www.beansurvey.vn))」を用いて、この流行に対してベトナム人がどう反応しているかを把握することを目的とした調査を2回実施してきました。調査結果は政策決定者、企業、感染症流行に対する社会の反応について知りたい方々の参考になると考えています。
- 1回目の調査は2月前半（2/8～10）に実施しました。1/23の1件目から2/13の16件目の感染確認までで流行が一旦収束しましたがその直前となり、初期対応が効果を上げながらもまだ先が見えなかった時期でした。調査結果の「[速報版](#)」を弊社サイトに掲載しています。
- 2回目の調査は4月後半（4/18～21）に実施しました。3週間新たな感染者が出ていませんでしたが3/6に17件目を確認、帰国者によって新たな病原が持ち込まれたことで感染が急速に拡大しました。その後1か月で感染者は200人を超え、諸外国のようなロックダウンは行われなかったものの、全国的な飲食店閉店や交通機関の停止、数万人の隔離など強い社会的措置を経て再び収束に向かい始めた時期です。国民感情は落ち着いてきた面のある一方、生活・生計への影響は深刻さを増していることが確認できました。
- 5月に入り、ベトナムでの新型コロナウイルスの流行は再び収束し、市中感染の新規報告は4月16日の268人目で止まりました。広く経済活動も再開されていますが影響は続いています。弊社では今後も状況に応じて追加調査を行っていく予定であり、読者諸氏には調査・分析内容についてご意見をお寄せいただけますと幸いです。
- 本報告書に関するご質問、ご意見、ご依頼は、以下の連絡先にお問い合わせください。  
[info@b-company.jp](mailto:info@b-company.jp)

# 【参考】ベトナムの流行状況

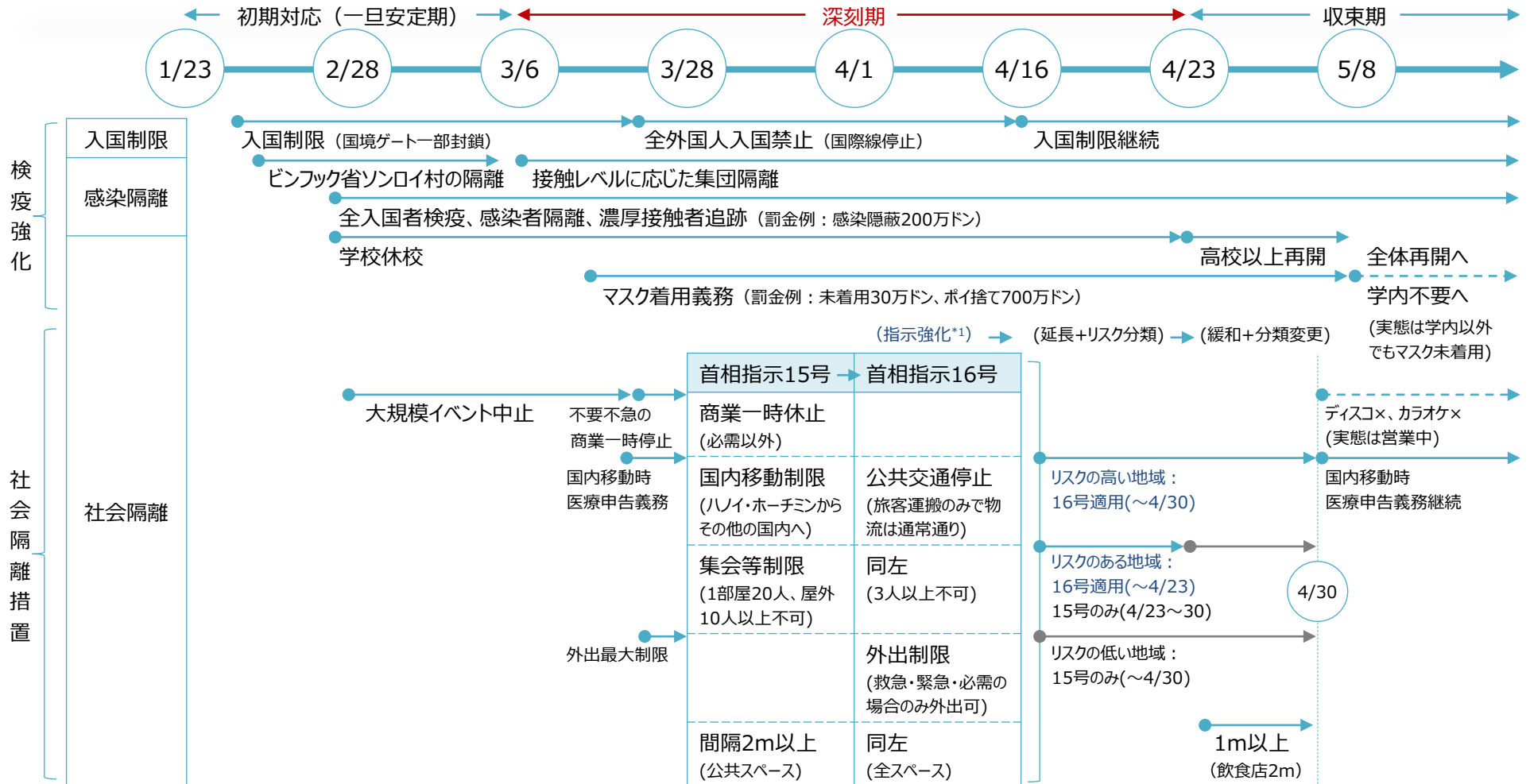
社会隔離措置期間の終了後、安定しているように見えるが予断を許さない感染状況



\*1：4/16の268件目を最後に市中感染の報告はない。4/17以降の増加分は、外国からの入国者で空港などで陽性反応が出た感染者（入国者検疫+隔離により拡散せず）

# 【参考】主な政府対応

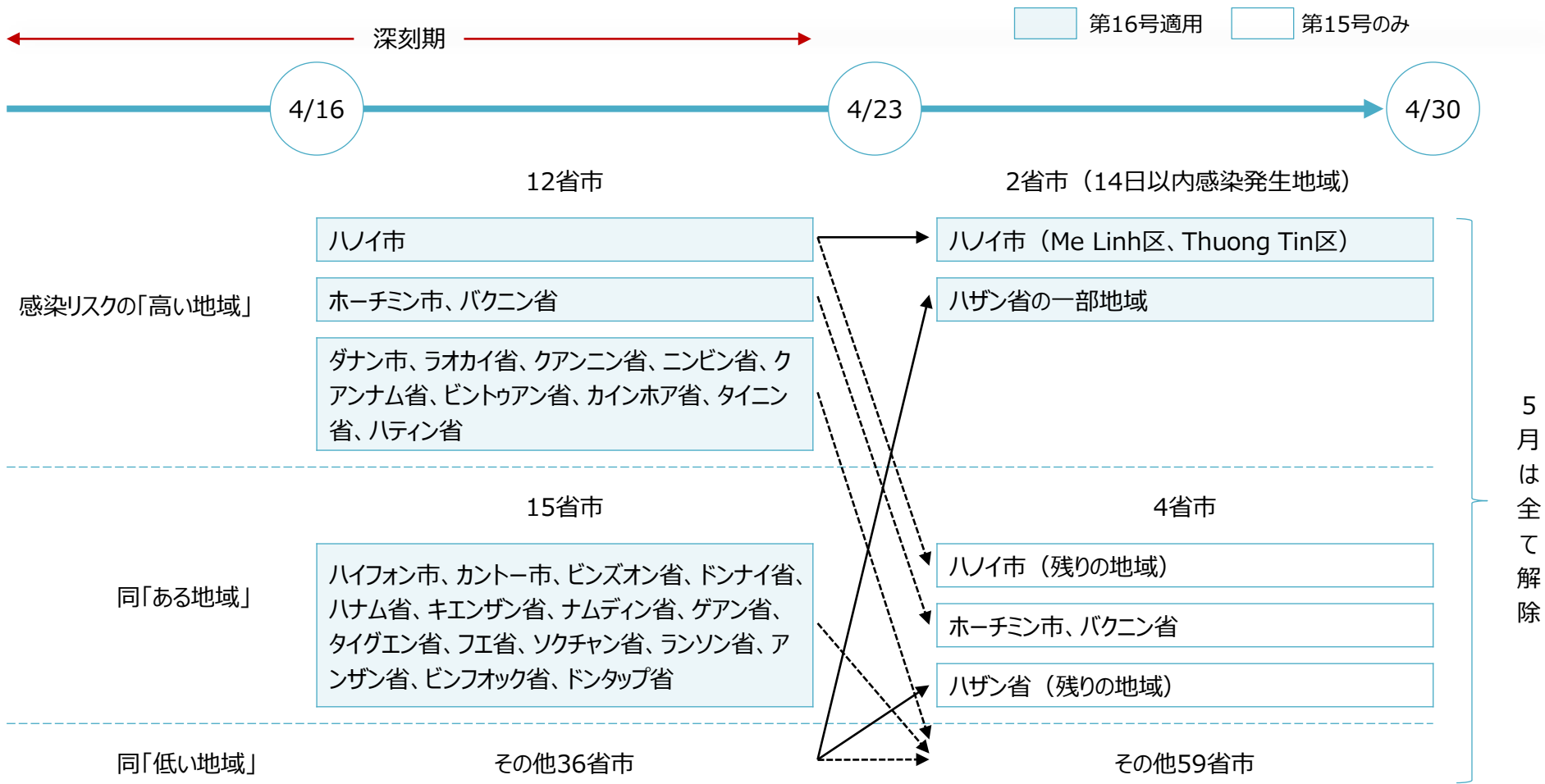
いち早い入国制限に次いで立ち上がりかけた増加に際しては首相指示による社会隔離で抑え込んだ



資料：在ベトナム日本大使館「ベトナム国内における新型コロナウイルス関連発表」 \*1：「罰則公表」、「風邪薬などの購入時に医療申告必須」、「4～6月分の電力料金引下」などがあった

# 【参考】4月後半の地域別感染リスク分類と15・16号の適用

社会隔離措置の対象地域は大幅に縮小

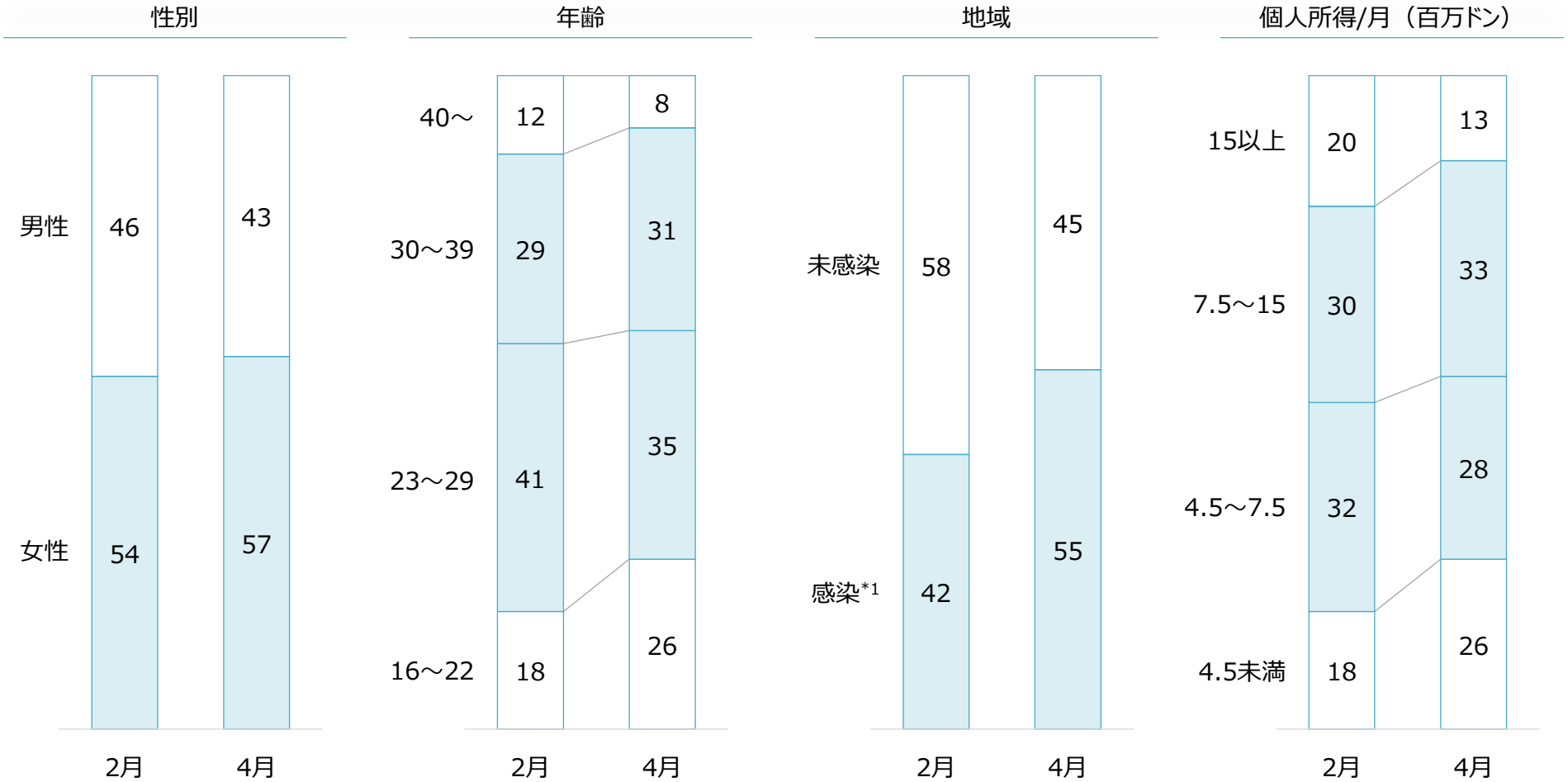


# 調査概要

目的	<ul style="list-style-type: none"><li>新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に対するベトナム人の認識、反応、政府対応への評価を理解する</li><li>以下の2つのフェーズで調査を実施し、時間の経過に伴う違いも含めて検討した（P2～4参照）<ul style="list-style-type: none"><li>A)【初期】（2月調査）</li><li>B)【深刻期】（4月調査）</li></ul>（※2月調査について別途「速報版」レポートを発行済み）</li></ul>
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>「COVID-19」への認識</li><li>生活への影響・対応</li><li>政府対応への評価</li></ul>
調査手法	<ul style="list-style-type: none"><li>オンライン調査</li></ul>
調査期間	<ul style="list-style-type: none"><li>1回目：2020年2月8日～10日（3日間）</li><li>2回目：2020年4月18日～21日（4日間）</li></ul>
回答者数	<ul style="list-style-type: none"><li>1回目：181人</li><li>2回目：424人</li></ul> ※以降のページで特に記載のない場合、「%」表示の「100%」は回答者数（2月：181人、4月：424人）
略語	<ul style="list-style-type: none"><li>SA（シングルアンサー）：択一回答</li><li>MA（マルチアンサー）：複数回答</li><li>FA（フリーアンサー）：自由回答</li></ul>

# 回答者属性 (%)

4月調査では年齢層が下がったため、収入が2月に比べ低くなっていると考えられる



\*1 : 2月は4省市、4月は29省市 (P2参照)

# 主な結果・解釈①

※今回の直接の調査結果に加え、他の背景から仮説的に考えられる点も含めて起こっていることを解釈、記述

参考：  
背景状況

- ベトナムにおける感染流行のフェーズは3つに分けられる。現在は【深刻期】を乗り越え、【安定期】に入っている
  - ①【初期】（1/23～3/5）：2/13に16人目の感染者が確認されて以降、3/5まで新たな感染者は出ていなかった
  - ②【深刻期】（3/6～4/22）：17人目の感染者（ベトナム人女性。26歳。英国・ロンドンからハノイ・バーディンに帰国。空港では解熱剤を使用して症状を隠していた）が発覚。3/9までに新たな感染者が15人。ベトナム政府は14日間の全国的な社会隔離措置（感染者・入国者隔離、検疫強化）を実施した
  - ③【安定期】（4/23～）：新たな症例数は大幅に減少したが、引き続き警戒状態が続く
- ベトナム政府と国民は3か月以上にわたって新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために団結して行動してきた

「COVID-19」  
の認識・情報  
収集

- 新型コロナウイルスは、【初期】から大きな関心を集めていたが、【深刻期】に入ってからは一気に緊張感が高まった。危険性に対する認識は、過去に死者を出した他の呼吸器疾患感染症と比べても非常に高い
- 全メディアで取り扱われたトピックであり、国民はテレビやスマートフォンを活用して情報を収集していた。【深刻期】ではSNSや口コミよりも政府の発表に耳を傾けるようになった。また、SNSを介してその原因や予防・治療に関するセミナーが多数実施されたが、その多くがフェイクニュースであったことから、ベトナム政府はフェイクニュースを流布した者に対して高額な罰金を科し、不明確な情報に対して疑義を抱く国民が増えた
- 【深刻期】にメディアや国民の間で諸外国での感染状況に関する話題が過熱したときもあったが、【安定期】の現在では、コロナ禍以前のような通常の話題に戻っている。死者が出ていないベトナムだが危篤状態の外国人が1人いるとの情報もあり、依然として警戒レベルは高い



# 主な結果・解釈②

## 生活への影響

- 首相指示の社会隔離措置を守るべく、【深刻期】の「外出自粛」の実施者率は、【初期】の約2倍となった。公共の場が自宅の近くにあっても外出できず、仕事や勉強が遅れ、外食や買い物などの日常生活が変則的となり、不安や恐怖をもたらした。一方で家族や自身と向き合う時間が増え、健康意識が向上するなどの効果もあった
- 医療用品や飲食料品、日用品などの買いだめ、高価格転売などが発生したが、ベトナム政府の時宜を得た対策により状況は時間とともに改善されている。また社会相互扶助の意識が強く、余分な飲食料品を無料で地域の人に提供するなどの緩和行動も見られた

## 学校・職場の対応

- 全国的に多くの仕事が停滞し、特に教育、娯楽など直接的な接触を必要とするサービス業で売上が減少し、従業員解雇も大規模に行われている。他方、社会隔離措置の一環としてリモートワーク/在宅勤務が進んだ

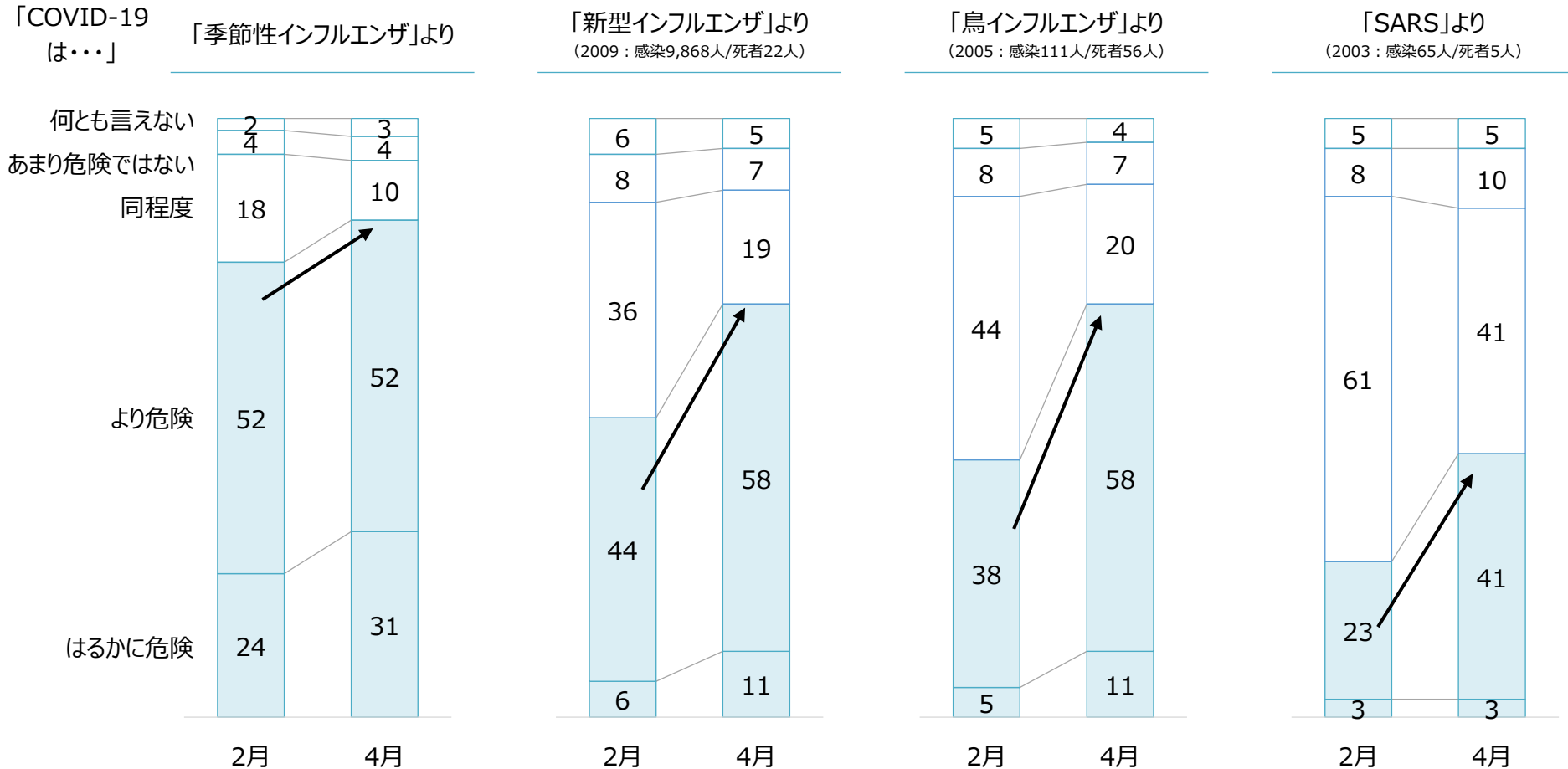
## 政府への評価

- 初期の感染発覚から迅速な情報発信、隔離措置が行われた。流行防止に対して責任感を示した政府は国民から評価され、特に【深刻期】に政府対応への支持がさらに高まった
- 国民の多くは感染防止措置の有効性を高く評価し、今後も厳格な防止措置を維持していくことを求めている。ワクチン、治療法の確立で新型コロナウイルスを管理できるようになる時期の見通しは立たないが、現段階で政府は国民の信頼を勝ち得たといえる

# 流行の重大性

当初より「COVID-19」を深刻に捉えている人は多かったが、さらに危機感が強まった

「他の呼吸器感染症」と比べた「COVID-19」に対する危険性の認識（％）

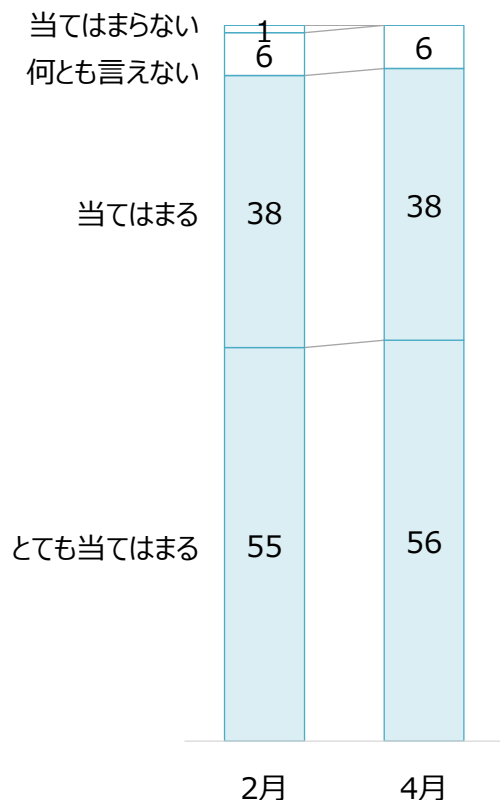


Q1 : 【SA】次の呼吸器疾患感染症（「季節性インフルエンザ」、「新型インフルエンザ」、「鳥インフルエンザ」、「SARS」）と比較して、危険か？

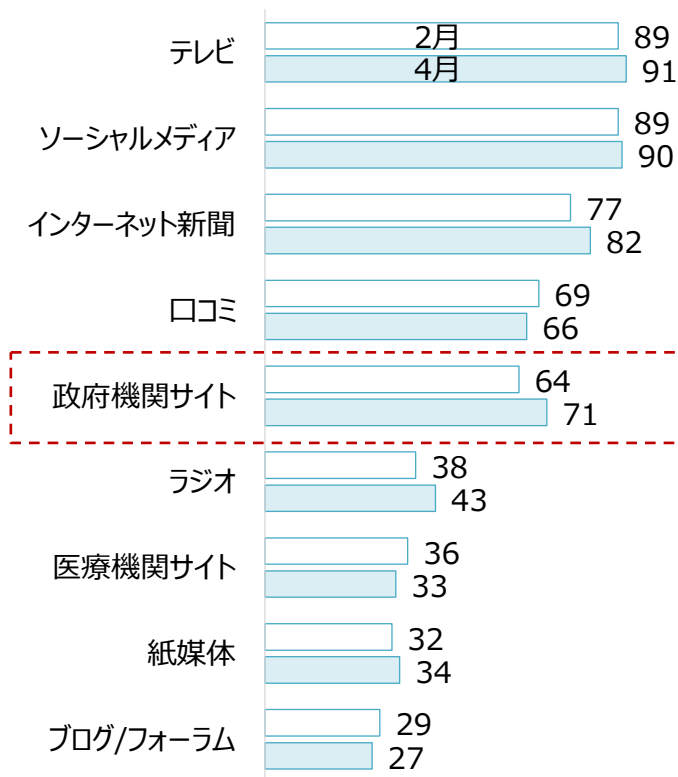
# 情報源

「テレビ」、「ソーシャルメディア」、「インターネット新聞」が情報源の上位。【深刻期】では「政府機関サイト」の利用が増えた。「口コミ」での情報は自然と入ってくるが、自ら見聞きしに行くことはあまりない状況が伺える

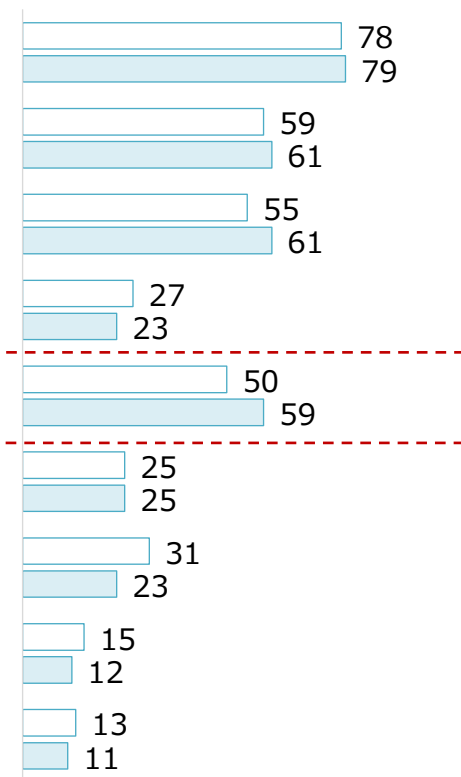
「COVID-19に関する最新情報を常に得るようになっている」 (%)



受動的に見聞きしている情報源 (%)



積極的に見聞きしている情報源 (%)



Q2 : 【SA】あなたは、『「COVID-19」に関する最新情報を常に得るようになっている』に、どのくらい当てはまるか？

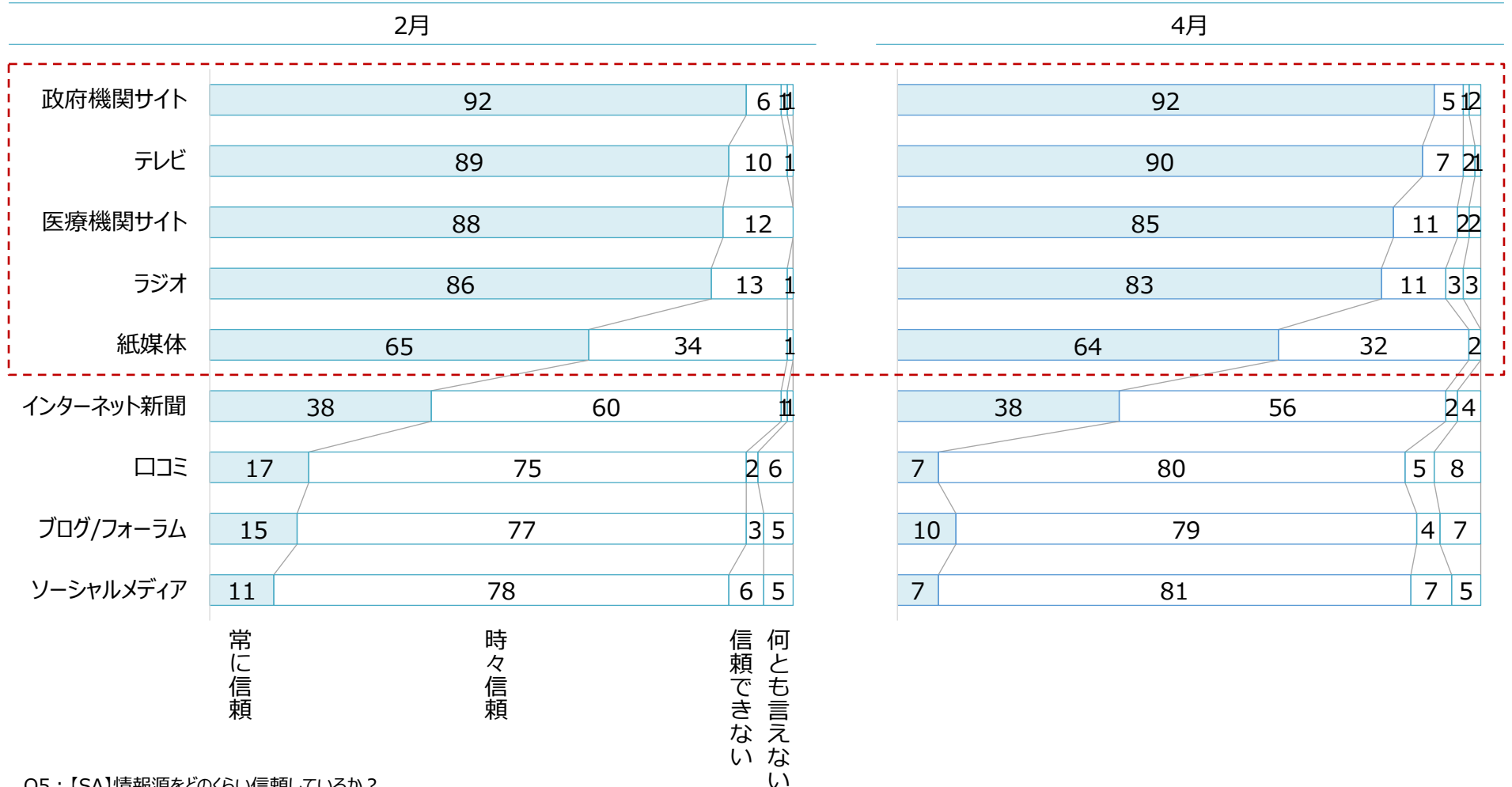
Q3 : 【MA】受動的に見聞きしている情報源はどれか？

Q4 : 【MA】積極的に見聞きしている情報源はどれか？

# 情報源に対する信頼度

政府、医療機関、従来メディアへの信頼度が高い。「口コミ」、ネット情報への信頼度は2月に比べても低下

情報源に対する信頼度 (%)

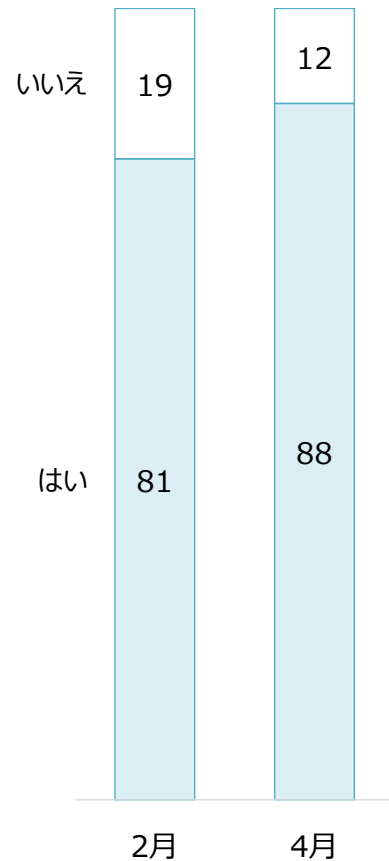


Q5 : 【SA】情報源をどのくらい信頼しているか？

# 誤報/フェイクニュース

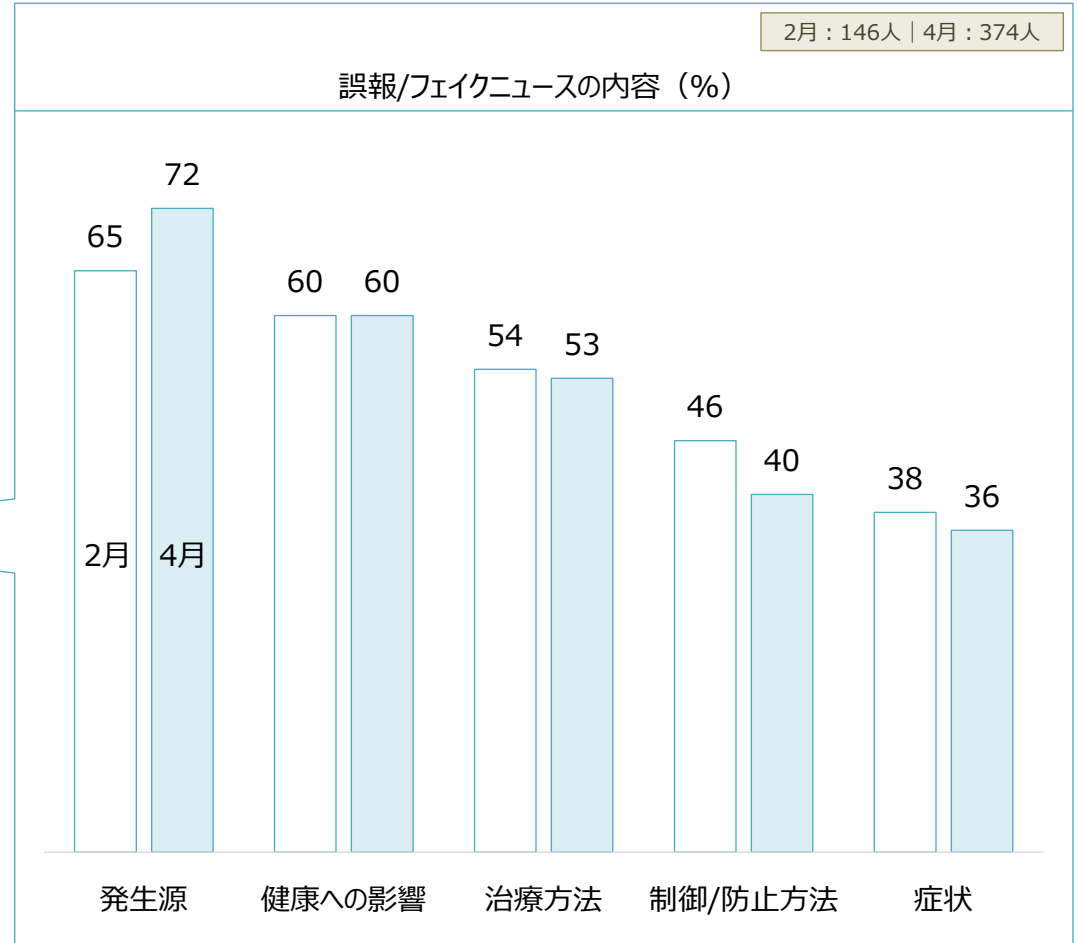
回答者のほとんどが様々なデマに接した

「誤報/フェイクニュースを見聞きしたか」 (%)



誤報/フェイクニュースの内容 (%)

2月 : 146人 | 4月 : 374人

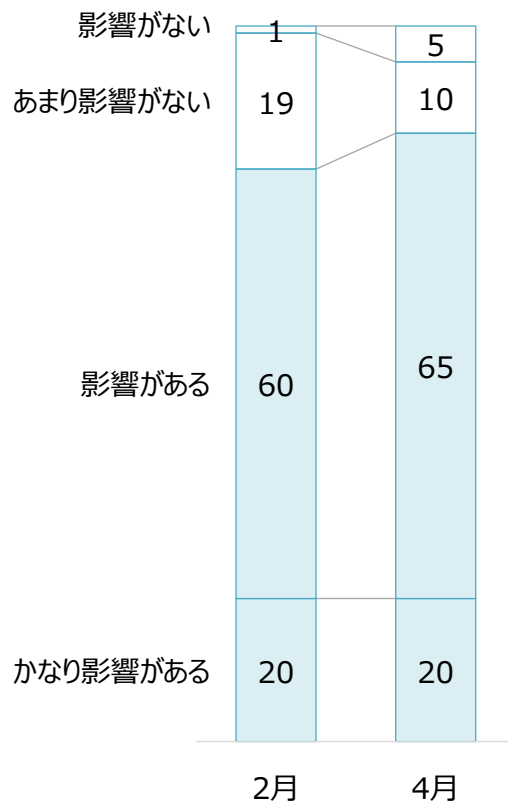


Q6 : 【MA】どのような誤報/フェイクニュースを見聞きしたか？その内容は？

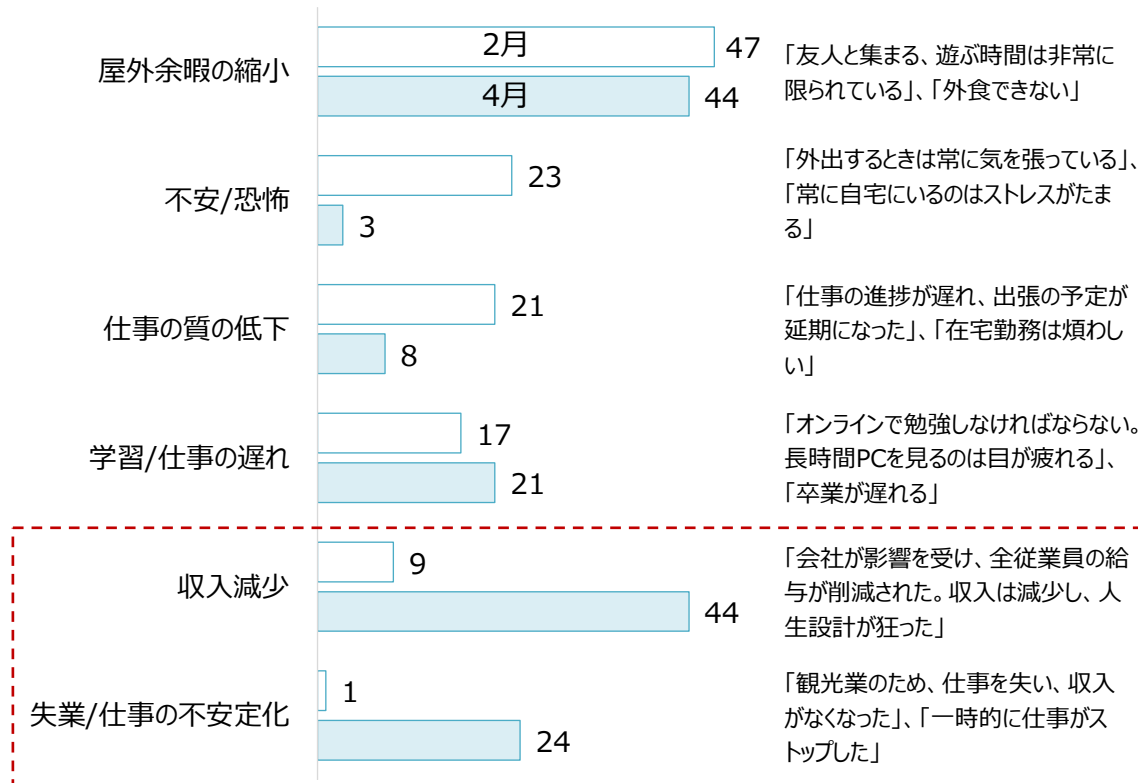
# 日常生活への影響

外出しにくい状況が引き続き最も大きな影響である一方、仕事・収入への影響が顕在化している

日常生活への影響 (%)



影響している点 (%)

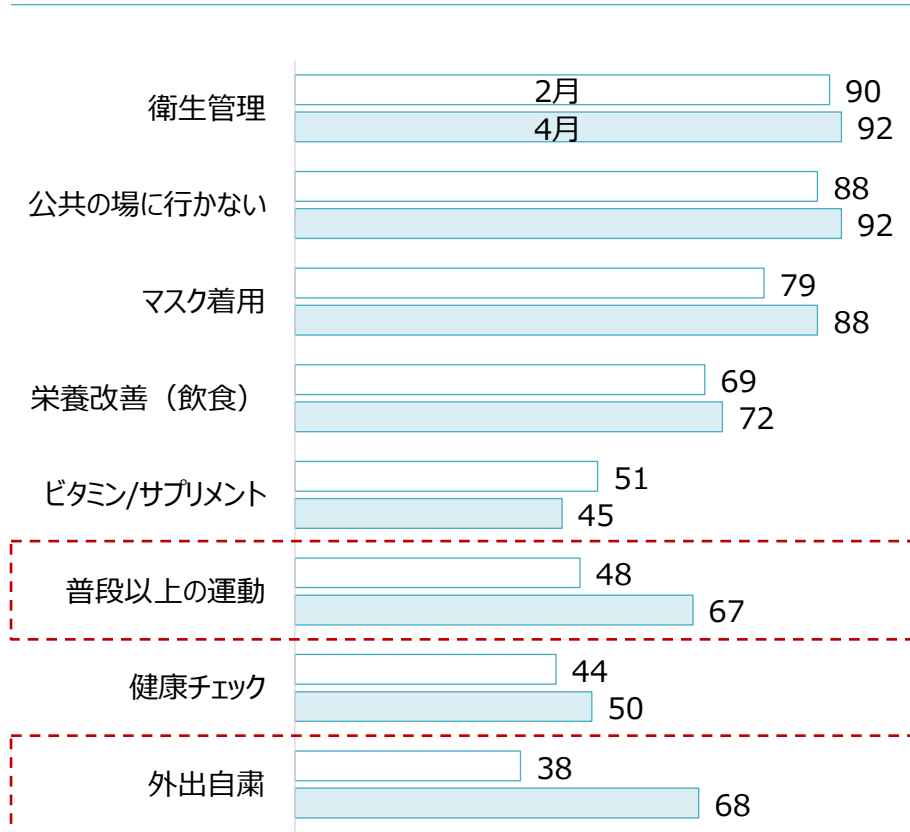


Q7 : 【SA】どのくらい日常生活に影響しているか？  
 Q8 : 【FA】日常生活にどのような影響を与えたか？

# 感染予防行動

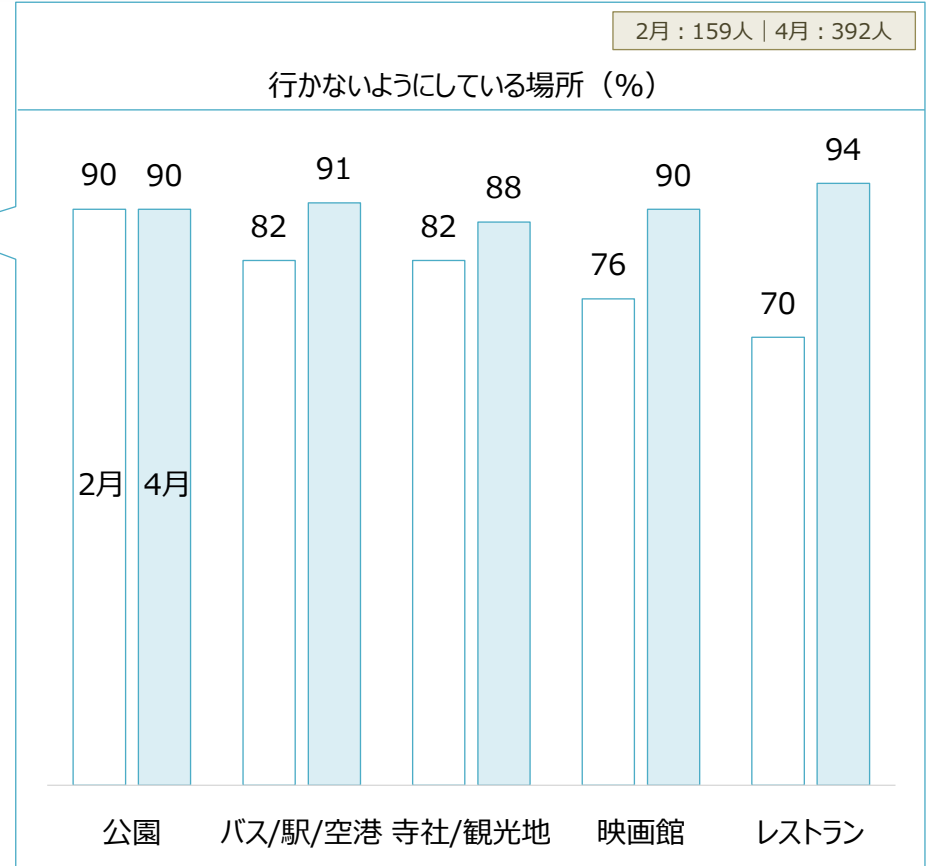
首相指示の社会隔離措置を守るため、4月における「外出自粛」の実施者率は、2月の約2倍となった。特に「レストラン」を避ける人が増えたことで、ほとんどの公共の場所から人がいなくなった

個人で行った予防策（％）



2月：159人 | 4月：392人

行かないようにしている場所（％）



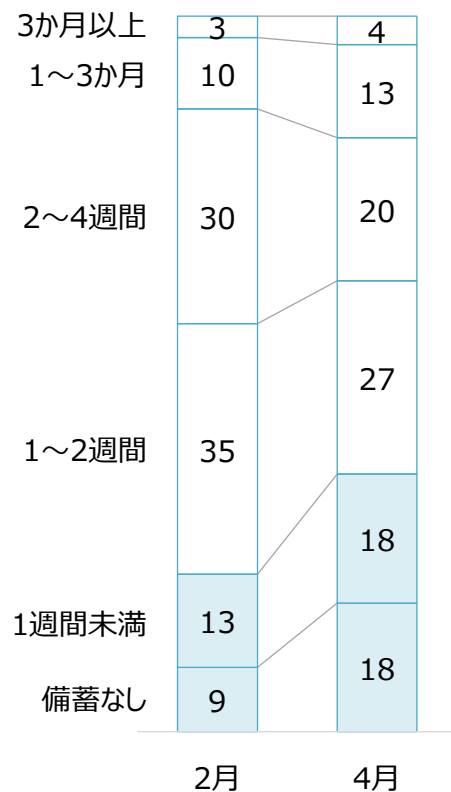
Q9：【MA】感染予防のために個人で行った予防策はどれか？

Q10：【MA】行かないようにしている場所はどれか？

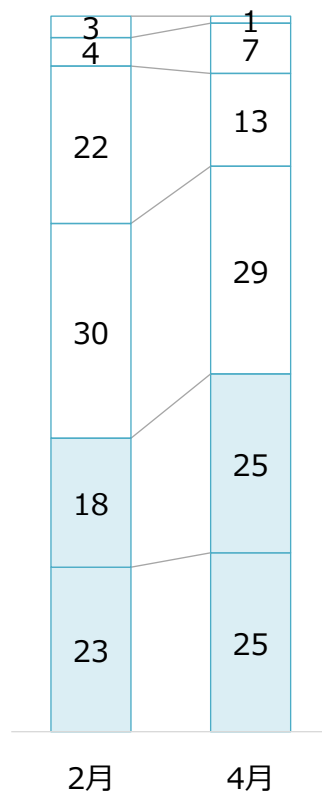
# 家庭の備蓄状況

2月では1週間分以上の買い置きが多かったが、4月ではほとんど通常に戻り、必要以上の「買いため」は控えられるようになった。  
長期化の中、日持ちのする「米」、「インスタント食品」が増加

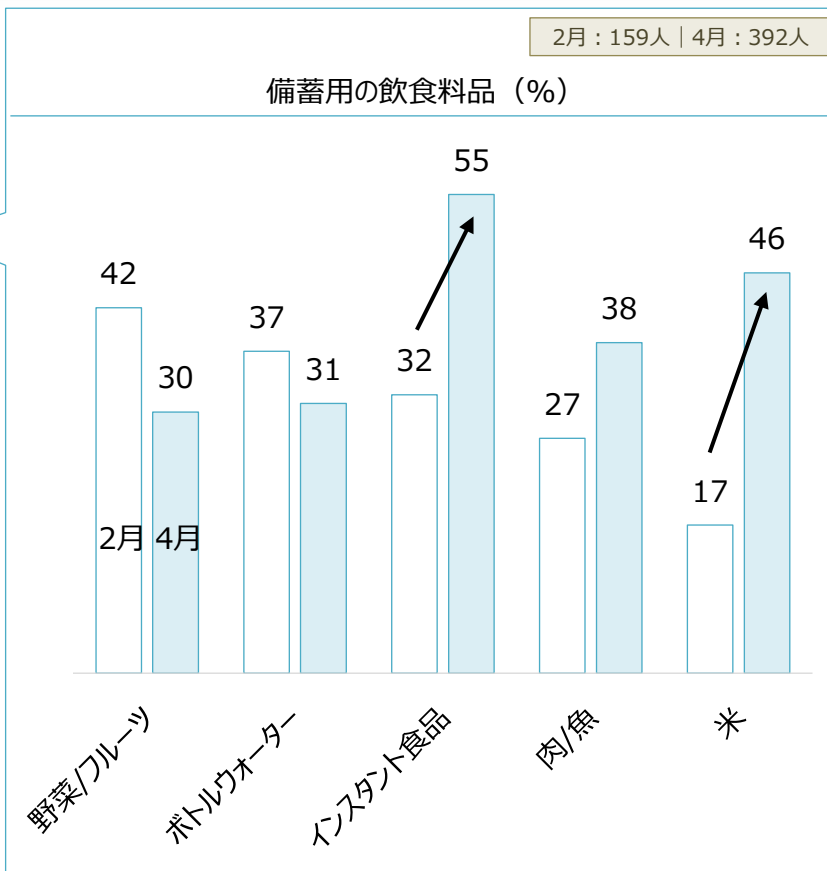
衛生/医薬品の備蓄期間（%）



飲食料品の備蓄期間（%）



備蓄用の飲食料品（%）



Q11：【SA】衛生/医薬品を備蓄しているか？備蓄量はどのくらいか？

Q12：【SA】飲食料を備蓄しているか？備蓄量はどのくらいか？

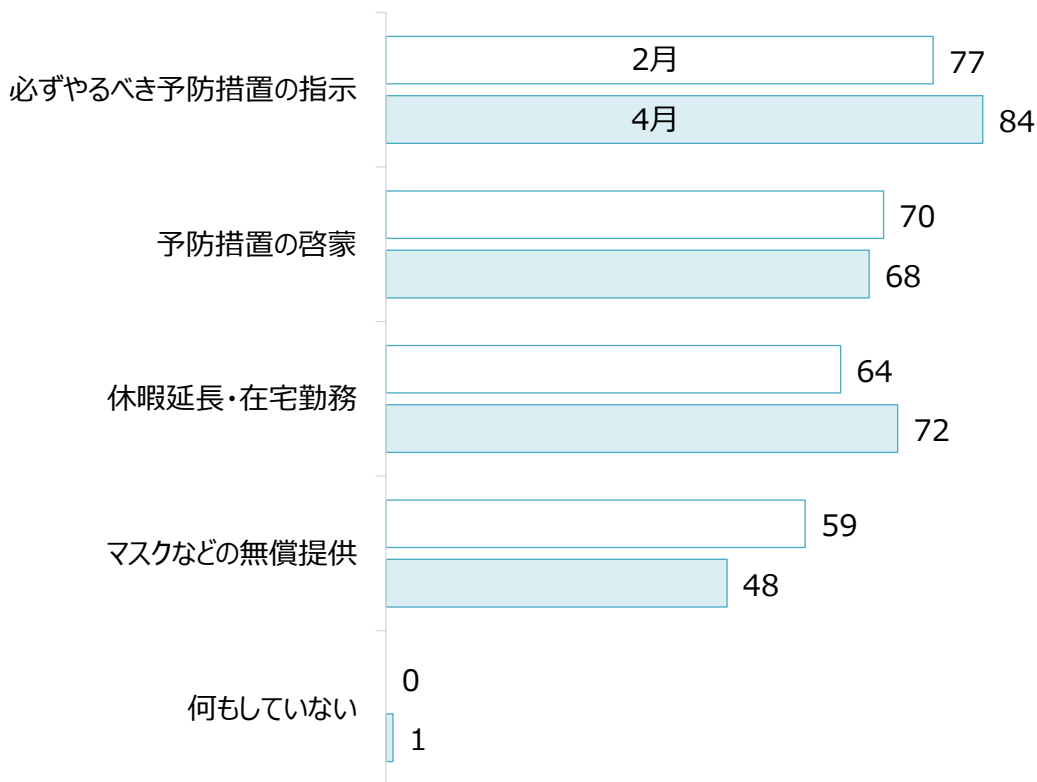
Q13：【FA】どのような飲食料品を購入したか？



# 学校/職場による感染予防措置

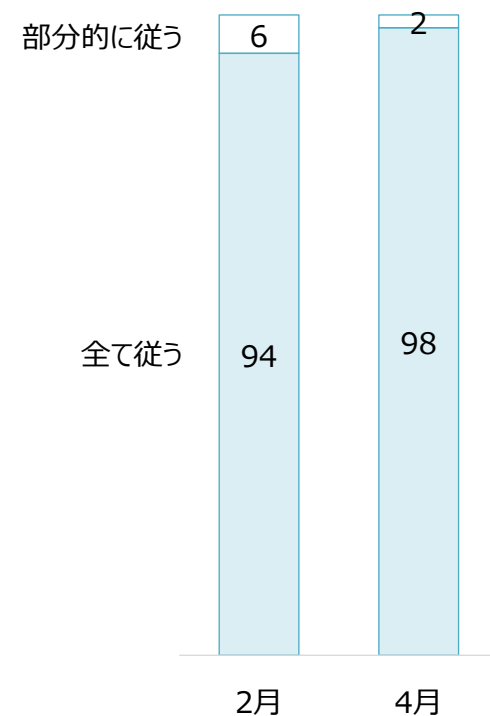
職場や学校で感染拡大の防止措置が広がり、ほとんどの人が指示に従っている

学校/職場の対応 (%)



2月 : 139人 | 4月 : 358人

厳守度 (%)

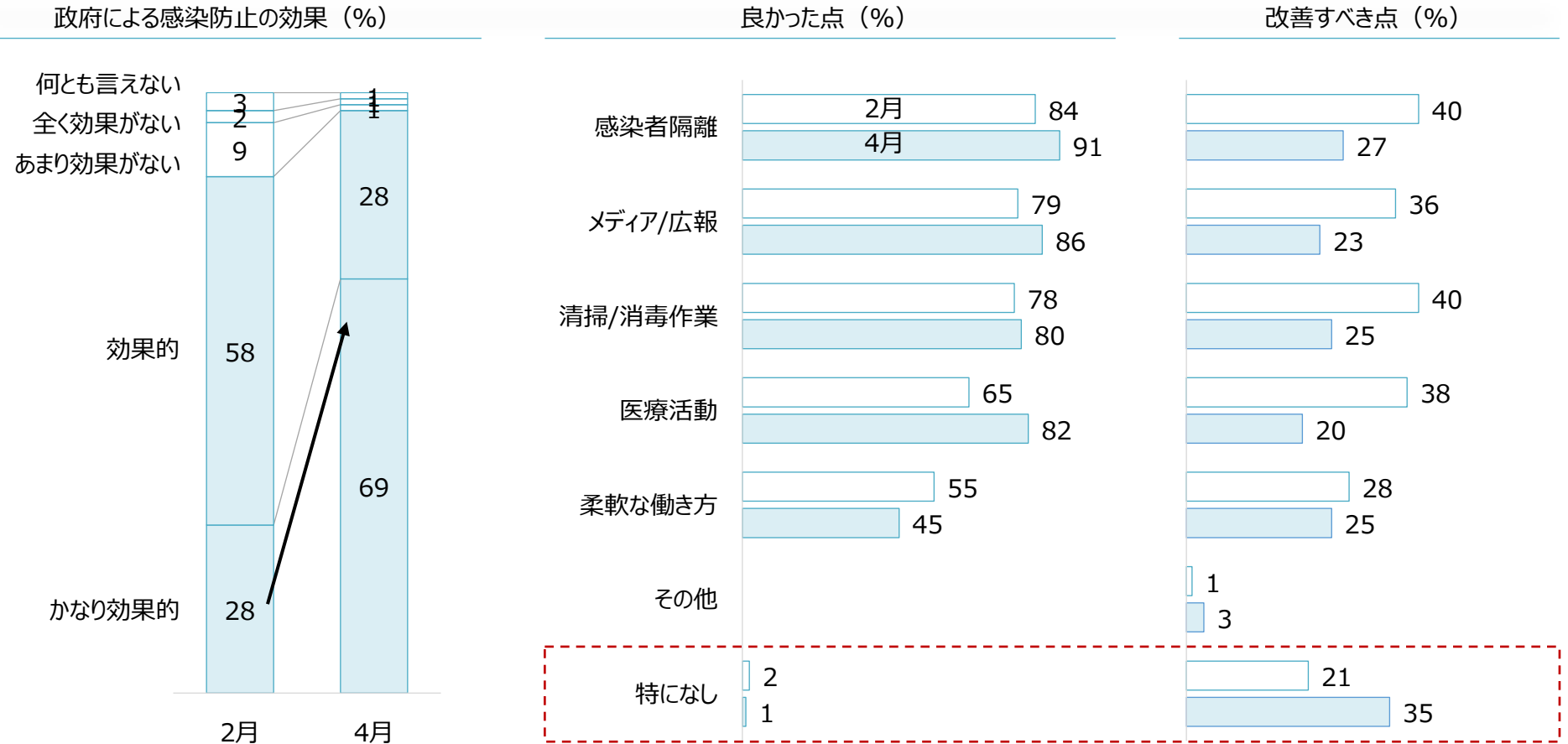


Q14 : 【MA】学校/職場でどのような指導/対処/予防措置が行われたか？

Q15 : 【SA】学校/職場による感染予防の指示に従ったか？

# 政府への評価①

時宜を得た感染者隔離、ソーシャルディスタンスなどの社会隔離措置を行ったことで政府への評価が高まった



Q16：【SA】ベトナム政府の予防措置をどう評価するか？

Q17：【MA】ベトナム政府の予防措置で、良かった点はどれか？

Q18：【MA】ベトナム政府の予防措置で、改善すべき点はどれか？

# 政府への評価②：コメント抜粋

大多数が政府の取り組みを高く評価し、改善への意見も措置の徹底などを望むものが多い

	良かった点		改善すべき点	
	2月・4月共通の点	4月の新規意見	2月・4月共通の点	4月の新規意見
 感染者隔離	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔離措置が効果的だった</li> <li>大規模な検疫が迅速に実施された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスが徹底された検疫だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針をより一層遵守すべき</li> <li>検疫をより迅速に実施すべき</li> </ul>	
 メディア/広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防措置の広報が効果的だった</li> <li>マルチチャネルで幅広い情報が定期的に発信されていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な情報が必要十分なだけ発信されていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に幅広い情報を発信すべき</li> <li>フェイクニュースが拡散されないような工夫をすべき</li> </ul>	
 清掃/消毒作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>消毒作業が迅速に行われた</li> <li>感染地域の消毒作業が定期的に行われていた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>公共の場をさらに消毒・洗浄すべき</li> <li>個人での衛生管理方法を広報すべき</li> </ul>	
 医療活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師、看護師の対応が誠実だった</li> <li>多くの感染者が治癒した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症専門の医師が配置された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断を行うべき</li> <li>医療機器、医療スタッフの配置を工夫すべき</li> </ul>	2月にあった「医療チームの質を向上すべき」という意見がなくなった
 柔軟な働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔離措置が効果的だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔離措置は合理的だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートワーク/在宅勤務の運用をより合理的にすべき</li> <li>社会隔離措置を延長すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会隔離措置期間の経済支援を増やすべき</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>国民全員の団結力があつた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>違反行為の処罰規則を設けるべき</li> </ul>

Q19：【FA】ベトナム政府の予防措置で、具体的に何が良かったか？

Q20：【FA】ベトナム政府の予防措置で、具体的に何をどう改善すべきか？